

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 75 号
医療法人 せいらぎ会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2008年3月5日(水)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(75) 骨粗鬆症！



梅は早春の庭に清楚な花を咲かせ、その美しい姿と甘い香りを放ち、万葉集には一〇〇首以上も梅の歌が貴族達に詠まれ、四君子(中国や日本の絵画で、蘭、竹、桜、菊)のひとつに挙げられて来ました。私たち日本人の美意識にかなった花として今も皆に愛されていると思います。中でも菅原道真公と梅は深い関係があります。大宰府に流された時に詠んだ「東風吹かば匂いおこせよ梅の花 主なしとて春な忘れそ」の歌は特に有名です。食用の「福井梅」で有名な三方五湖の西田梅林の写真です。約一五〇年前、旧西田村の豪農「助太夫家」と「平太夫家」の庭に梅の木が植えられ、両家の名にちなんで、それぞれ「助太夫梅」「平太夫梅」と呼ばれ、幾度にわたる品種改良を経て「紅映(ベ



西田梅林 (三方五湖、福井県)

にさし)」「剣先(けんさき)」として福井の地に定着したそうです。その後、明治一五五〇年から村が積極的な栽培にあたり、「福井梅」の名は広く知られるようになりました。三方五湖の湖畔一帯で栽培される「福井梅」は、天保時代から受け継がれて

きた伝統の風味を今も守り続けています。
骨粗鬆症のお話です。

「骨の強度は骨密度ばかりでなく骨質にも依存し、骨粗鬆症はこの両方の要因が低下することで、骨強度が低下して骨折のリスクが増大しやすくなる疾患」と定義されています。幼少期や思春期の栄養や適度な運動が骨密度に大きな影響を及ぼします。しかし、無月経を来たような過度の運動やダイエット、喫煙や飲酒は骨の健康にマイナスになります。分娩後六ヶ月以上の授乳、両側卵巣摘除、ステロイド治療なども骨密度を低下させます。骨粗鬆症による骨折、特に橈骨、上腕骨や大腿骨頸部での骨折には転倒がその原因として重要です。予防には、カルシウム(一日六〇〇〜八〇〇mg)を含む食生活の改善、運動習慣を身につけることです。治療には、骨破壊を防ぐ薬、カルシウム、女性ホルモン、ビタミンDやK、漢方薬があります。当院でも骨密度を測定しています。この機会に測定してみたいかですか。





では実例に移ります。

四〇歳女性、**骨粗鬆症**、早発

閉経、疲労倦怠感、食欲低下、乾燥肌、冷え症。顔色はすぐれず、腹部は軟弱、胃内停水、臍上悸、臍下悸、臍下不仁。脈は沈、弱、遅。舌は、淡暗色、無苔、乾燥、舌下静脈軽度怒張。骨量（DEXA）七〇％、FSH八十七、E₂以下。そこで、十全大補湯を処方。二ヶ月後、疲労倦怠感、食欲低下が軽減。一年後、骨量（DEXA）七〇％、冷え症と乾燥肌も軽減、無月経。そこで、十全大補湯とフオサマツクを処方。二年後、骨量（DEXA）七十一％、無月経。同処方。五年後、骨量（DEXA）七十三％、無月経。同処を継続中。

五七歳男性、**アレルギー性鼻炎**

（鼻水、鼻閉）、一五七cm、六二kg、白色調皮膚。顔色良好、食欲良好。お腹は力があり、胸脇苦満、心下痞硬、両側腹直筋緊張、両側臍傍に抵抗と圧痛、脈は浮、緊、実。そこで、小青竜湯加桔梗石膏を処方。二週間後、鼻水も鼻閉も改善。四ヶ月後、鼻の症状がなくなったので、柴胡桂枝湯と桂枝茯苓丸に変方。一年後、アレルギー性鼻炎の季節

になっても再発なし。服用している調子がよいと三年後の現在も服薬中。

十八歳女性、**生理痛**、便秘（四

七日に一回排便）、冷え、腹部膨満、抑鬱傾向。顔は血色普通、腹は軟弱で臍上悸、下腹部膨隆、脈は沈細淡。舌は暗紅色、乾白苔。子宮も卵巣も正常。そこで、芎歸調血飲第一加減を処方。二ヶ月後、月経痛が減少。腹部膨満感、抑鬱感、便秘改善。一年後廃薬。その後、月経痛の自覚はない。

六十五歳女性、**带状疱疹後肋間神経痛**、めまい、頭痛、肩こり。

顔面紅潮、青白く脹れている。腹部は軟弱、胃内停水、臍上悸、臍下不仁（下半身虚弱）。脈は沈、遅、弱。舌は、淡白色、乾白苔、舌下静脈怒張。そこで、真武湯＋桂枝人参湯を処方。毎日少しずつ快方向にかい、二週間で元通りになった。次回は、**切迫流産**です。



〔院長〕



アレルギー性鼻炎

1～5月頃、8～10月頃の季節に発症する人と年中症状のある人がおられます。花粉、ほこり、動物の毛、気温、感情の変化の影響が大きいと思われます。鼻水、鼻づまり、クシャミの激しい時の漢方薬（発作用）と体質改善の漢方薬があります。また、血液でアレルギー検査（花粉、動物の毛、食べ物など）もできます。



生 理 痛

子宮内膜症や子宮筋腫やクラミジア感染症、胃腸虚弱、冷えや血液循環障害、精神不安、疲労などが原因で、子宮筋肉を流れる血液が相対的に不足するために起こります。検査（血液、尿、子宮頸管分泌物、超音波）や診察（問診、四診〔腹、脉、舌〕、内診）で適切な漢方薬を選びます。



带状疱疹後肋間神経痛

带状疱疹が発症するおよそ1週間前から左右どちらかの肋間神経に沿って違和感やピリピリした痛みを感じ、赤い発疹と水ぶくれができます。皮膚の症状が消えた後、数か月から数年以上痛みが残る場合、带状疱疹後神経痛といい、頻度は10％程度（70歳代では50％以上）です。漢方薬による治療もかなり有効です。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。
当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、**しっかり蓋**をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。
漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、**痺れ**、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、腔分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約-漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります。予約制、2回/月。
午後2時～2時20分、2時20分～40分、2時40分～3時、
3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時。
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリクス ・メシマコブ
・靈芝 ・AHCC ・サメ軟膏

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が
使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、
早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、
その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。
往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問
診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、
膝の痛み、ムチウチ、捻挫、花粉症、アトピー性皮膚炎、
ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは3.0mm、
いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、
足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

処置診(処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザー)

診察券を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を書き、**処置の
欄**にチェックして下さい。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	○ (予約可)	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	○ (予約可)	—	—

◇漢方外来(月～土)(予約可) : 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分

3時40分～4時 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)

◇更年期外来(月～土曜日)(予約可): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊 外来(月～土曜日)(予約可): 赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦 外来(月～土曜日)(予約可): 妊婦健診、妊娠中の方

◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

前期と中期-母親教室

日時: 平成20年3月8日、4月12日、5月10日の各土曜日

対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。*ご主人様もお気軽にご参加下さい。

立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前記入をお願いします)

後 期 - 母 親 教 室

日時: 平成20年3月5日(水)、15日(土)、26日(水)、4月5日(土)、16日(水)、

26日(土) 対象: 妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。

ご主人と一緒に参加される場合は、必ず申し込みノートに予約の記入をお願いいたします。



金 元 四 大 家

金元の時代には、『和剂局方』の補法と異なり、清熱の瀉法という考え方が生まれました。中国哲学の分野では学術論争が起こり、経済や科学技術が大いに発展して、多くの医家は古人の成果を継承しつつ、各自の経験に基づいて独自の見解を提唱し、特色のある流派を形成して、中医学の発展は新たな局面を迎えました。四大家として、劉完素(河間)「寒涼派」、張從正(子和)「攻下派」、李杲(東垣)「補土派」、朱震(丹溪)「養陰派」が有名です。詳細は次回説明します。



分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。ご予約には、分娩予約カードと予約金10万円が必要です。予約された方には、母と子のてびきをお渡しします。里帰り分娩も受付ています。

外来の予約

診察の流れをスムーズにし、患者様の診察の待ち時間を短くするため中止しました。

漢方のお茶

漢方のお茶(清暑(せいしょ)益(えつ)気(き)湯(とう)加減)を待合に置いています。疲労回復にもってこいのお茶です。ちょっと疲れ気味の方はお試しください。妊娠中の方も飲みください。

パソコンホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受け付けています。妊娠24週ころ(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

外来医の変更

3月29日(土曜日)の外来は、院長が出張するため、担当医が変わります。この日の漢方外来はありません。